

## 新型コロナウイルス感染防止対策について

いまだ新型コロナウイルスが収束したとは言えない状況ではありますが、「基本的な感染防止行動」を徹底しながら、徐々に「コロナ前の生活」に近づけていきたいと思えます。皆さまのご協力をよろしくお願ひします。

### 1. 健康観察・検温等通学について

#### (1) 健康観察・検温等について

- ① **起床後、就寝前、必ず1日2回体温測定をし**、「体調管理カード」に記入してください。発熱している場合（37.5℃以上）、軽い風邪症状（咳や鼻水が出る、喉が痛い、体がだるい、嗅覚や味覚に異常があるなど）が見られる場合は登校を控え、その日のうちに「発熱・軽い風邪症状の発症、濃厚接触者への指定等の連絡フォーム（以下、「発熱等の連絡フォーム」という）」に入力してください。
- ② **【重要】「発熱」、「軽い風邪症状」などで登校を控えた学生は出校停止扱いとします。**出校停止により欠席した授業等については学生の不利益にならないよう、オンラインでの受講、レポート、補講等の代替措置を講じる等、適切な配慮を行います。
- ③ 「行動記録カード」を利用して、毎日、自分の行動履歴を記入してください。
- ④ 学生玄関に「サーモグラフィーカメラ」を設置していますので、カメラの前を通過して検温してください。
- ⑤ 学生玄関・正面玄関に「**消毒用アルコール**」を設置していますので、必ず手指を消毒してから校内に入ってください。

### 2. 学内での生活について

#### (1) マスクの着用について

- ① 学内では原則不織布マスクを着用してください。ただし、人と2m以上の距離があり、かつ会話を行わない場所ではマスクを外しても構いません。
- ② マスクは鼻まで覆い、口、鼻を出さないようにしましょう。
- ③ 夏場は「熱中症」の危険性が高まります。暑さを感じるときは、人のいない換気のいい場所へ移動して、マスクを外して休憩してください。
- ④ マスクを忘れた方、マスクのひもが切れた方、アレルギーやケガ等でマスクをすることが難しい方は、学務課・保健相談室に相談してください。

#### (2) アルコール消毒について

玄関、教室等、さまざまな場所に「手指消毒用アルコール」を設置していますので、必要に応じて手指を消毒してください。

#### (3) 手洗いについて

**小まめな手洗いは感染予防の基本です。**特に喫食前は手洗いするようにしましょう。

#### (4) 三密環境の回避について

「換気の悪い密閉空間」、「多数が集まる密集場所」、「間近で会話や発声をする密接場面」のいわゆる「三密」の環境を避けてください。

#### (5) ソーシャル・ディスタンスについて

「飛沫感染」を防ぐため、**他の人と十分な距離を取るよう心がけてください。**

### (6) 教室・授業について

- ①授業の時は、原則1人ひとりが「**1.2m**」の間隔を保つことを基準とします。
- ②授業中は必ず不織布マスクを着用してください。フェイスシールドについては、換気を十分に行ったうえで学生同士が「1.0m」以内に近接する場合、授業担当教員の判断によって着用を求める場合があります（フェイスシールドは大学で準備します）。
- ③授業を行う教員は、必ず不織布マスクを着用します。
- ④教室は換気に十分配慮します。授業中、夏・冬に限らず窓を開ける場合がありますので、体温調整ができる格好をしてください。

### (7) 保健相談室、学生相談室について

体調に関して悩んでいる場合は保健相談室に、ストレスや心の問題で悩んでいる場合は学生相談室にぜひご相談ください。

### (8) 学内での飲食について

- ①学内で喫食するときは、必ず「**黙食**」してください。
- ②机・椅子は感染防止対策を考慮して配置していますので、勝手に移動しないでください。
- ③マリアホールスペースの座席数には限りがあります。空きがないときは、学部ラウンジ、他の教室（6101 講義室等）に移動して、喫食してください。
- ④喫食前は手洗いをしてください。
- ⑤喫食時は、自分が着席している教室名、座席番号等を「行動記録カード」に記入してください。
- ⑥喫食することが多いであろうマリアホール、学部ラウンジ、大学院ラウンジにCO<sub>2</sub>センサーを設置し、二酸化炭素濃度が1,000ppmを超えるとアラーム音が鳴るように設定しています。アラーム音が鳴った場合は、一時的に近くの窓・ドアを開けて、換気をしてください。

## 3. 学外での生活について

### (1) 外出時の注意事項について

- ①外出するときは原則不織布マスクを着用してください。ただし、人と2m以上の距離を確保できる場合や、距離が確保できなくても会話をほとんど行わない場合はマスクを外しても構いません。夏場は「**熱中症**」の危険性が高まります。暑さを感じるときは、人のいない換気のいい場所に移動して、マスクを外して休憩してください。
- ②規模の大小に関わらず、「換気の悪い密閉空間」、「多数の人が集まる密集場所」、「間近で会話や発声をする密接場面」のいわゆる「三密」の環境に行くことは控えてください。
- ③高齢者や基礎疾患のある方と会うときは、事前にPCR検査・抗原検査を受けて「陰性」を確認するなど、より一層感染防止対策を徹底してください。
- ④お店で飲食する場合は、北海道飲食店感染防止対策認証店など、感染防止を徹底している飲食店等を選び、短時間で、大声を出さず、会話の時は不織布マスクを着用するなど、感染リスクを回避してください。特に、普段会わない方との飲食の際は、より一層注意しましょう。また、飲食の前は必ず手洗いをしてください。
- ⑤帰宅したら必ず手洗いをしてください。

### (2) 体調管理について

十分な栄養と睡眠をとり、自分の体調管理に努めて、免疫力を高めましょう。また、適度な運動を生活に取り入れるとともに、自分自身のストレスケアにも気を配ってください。

### (3) 道外等への移動について

「感染者が多い地域（まん延防止等重点措置、緊急事態宣言が発出されている地域）」への移動は、自粛することを強く要請します。

(4) 部活動・サークル等について

- ①感染防止に配慮した上で、部活動・課外活動を認めます。また、活動する際はその内容を必ず顧問に説明し、許可をもらった上で活動してください。別紙「新型コロナウイルス感染防止のための部活動ガイドライン」をお目通しください。
- ②当面の間、大人数のコンパ、打ち上げは自粛するよう要請します。

(5) アルバイトについて

アルバイトは、三密を回避できるものにしてください。  
また、実習先によっては「アルバイトをしている学生を受け入れない」という施設もあります。教員から個別に指示が出ますので、それに従ってください。

(6) 換気等について

自室では、窓やドアを開けるなどして十分な換気を行ってください。目安としては2時間ごとに5～10分間程度です。

(7) 備蓄について

感染した場合に備えて、解熱剤や少なくとも3日間程度の食料を用意しておきましょう。

以上